



大屋市民センター。大屋地域局舎が完成

昨年11月から建設を進めていた大屋市民センター・大屋地域局舎が完成し、10月11日に竣工式が挙行されました。地域の拠点、交流の場として運用される同施設の概要を紹介します。

竣工式典に120人が出席

これまでの庁舎は、旧村合併に伴い昭和37年に建設され、以後、多様な行政需要に対応するため増改築を繰り返していました。しかし、筑後40年が経過して老朽化が進行。住民サービスの向上や効率的な事務執行に支障をきたしていました。

新庁舎の建設にあたっては、「開かれた庁舎」「頼れる庁舎」「情報の要となる庁舎」「便利な庁舎」という4つの基本方針に基づいて整備がされ、市民間の交流、防災の拠点施設などとして運用されます。また、デザインは周辺に残る養蚕農家の家並みと調和を図っています。

10月11日に挙行された竣工式典には、市幹部職員をはじめ地元関係者や工事関係者など約120人が出席。

庁舎前で完成を祝うテープカットが行われた後、梅谷馨市長が「この施設を中心に、大屋地域のますますの発展に努めることをお誓いします」とあいさつしました。

なお、旧庁舎は解体し、駐車場として再整備を行います。



式典出席者の前であいさつをする梅谷市長